

チガイが
出会う

Special Feature ①

ピアサポートの進化形

『ほのぴあ』始動。

SWCあいの実 × 仙台市



Special Feature ②

視線入力アートブック

『GAZE ART BOOK』
の波及。

ミライが
動く





CONTENTS

01 : 代表挨拶

02 : 団体概要、2024～2025のハイライト

03 : 【特集1】ほのびあ 行政×福祉「支え合いは、選べる時代へ」

05 : 【特集2】アートブックの波及 アート×社会「寄贈先での出会い」

07 : 活動報告①②

11 : 決算報告書

12 : 数字で見るあいの実

13 : ほのびあアクセスガイド

14 : 活動計画「ロジックモデル2025」

15 : パートナー企業のご提案

16 : あいの実を応援してください

17 : ご支援くださったみなさま「支援企業ご紹介」



ごあいさつ

理事長／CEO

乾 祐子

「まなざしと思いが重なる交差点」

夏の陽ざしが街を彩るように、様々な出会いが私たちの活動に彩りを与えてくれます。『交差点』という言葉がありますが、私たちの役割は、人と人、心と心が出会うための安全な交差点を用意することなのかもしれません。

本年、『SWCあいの実』はNPO法人設立から20年を迎えました。長きに渡り歩みを続けられたのは、ご利用者とそのご家族から寄せていただいた信頼の証にほかなりません。その信頼に応えるた

めに、私たちは時代の変化に合わせて、一歩一歩漸進しながら新たな支援の形を模索してきました。

例えば、子どもたちの「視線」がアートや技術と交差して生まれたアートブック『GAZE ART BOOK』。そこには、ご家族も知らなかった豊かな感性という希望のかたちが現れました。我が子の表現に、宝物だと涙されたご家族の姿が忘れられません。

そして、親同士の温かい「眼差し」が交差する交流拠点『ほのびあ』。

そこには、「一人じゃない」という安心感から生まれる、明日への希望が着実に紡がれています。

20年の軌跡と未来への一歩。その両方を胸に刻み、誰かの「してほしい」に真摯に耳を傾け、それを形にしていくこと。その積み重ねこそが、私たちの目指す地域です。「人からしてほしいと思うことを、人にする」という理念を胸に、スタッフ一同、皆様の伴走者として歩み続けていきます。

ABOUT SWC AINOMI

社会福祉法人あいの実（SWCあいの実）

PROFILE

あいの実について

介護事業者からソーシャルビジネスプレイヤーへ
全く新しい社会福祉法人の姿を、東北・仙台から発信

SWCあいの実は、神経難病患者・重症心身障がい児者・医療的ケア児者とそのファミリーへのサービスに特化しています。

制度だけでは解決できない問題やこれまで届かなかった支援に取り組むため、全く新しい社会福祉法人の姿を東北・仙台から発信していきます。

そのために、介護報酬だけを事業の基盤とせず、ソーシャルビジネスやクラウドファンディングにもチャレンジしています。

SWC

SWCあいの実とは東北・仙台市の社会福祉法人です。特定非営利活動法人の略称がNPO(Non-Profit Organization)であるように、社会福祉法人にも略称があってもいいんじゃない？それで私たちは社会福祉法人の略称としてSWC(Social Welfare Corporation)を先駆けて使うことにしました。全く新しい社会福祉法人の姿を東北・仙台から発信していきます。

HISTORY

あいの実のあゆみ

2005	NPOあいの実設立
2012	喀痰吸引サービス開始・ナレτζジを地域事業所と共有
2014	ティサービス『あいの実ラズベリー』開設
2014	銭湯プロジェクト開始
2015	ティサービス『あいの実クランベリー』開設
2018	『Honey Nap Cafe』オープン
2021	SWCあいの実設立
2022	障がい児者相談支援『あいの実オリーブ』開設
2023	『仙台あばいんプロジェクト』ローンチ クラウドファンディング目標額達成 ヴィラ型複合福祉施設『COCOON西田中EAST』オープン 『あいの実クリニック』開設 ティサービス『あいの実ブルーベリー』開設 医療型ショートステイ『あいの実ストロベリー』開設
2024	『カフェ・ドゥ・チルミル』オープン

2024 - 2025

- 2024 12月 介護員養成研修事業者指定
- 『GAZE ART BOOK』完成（清水基金・文化芸術活動）
（特別助成事業最終成果物）
- 2025 2月 市民協働事業提案制度採択決定
- 『ほのびあ』事業開始

真に機能する支え合いを、
制度の中に位置づけていく。



福祉 × 行政

支え合いは、選べる時代へ。

『ほのぴあ』は、
仙台市とあいの実による協働事業です。

社会福祉法人あいの実は、2025年4月より、仙台市障害者支援課と協働で家族支援プロジェクト『ほのびあ』を始動しました。この取り組みは、令和7年度市民協働事業提案制度に採択されたものであり、制度の枠組みと現場の実感をつなぐ新たな福祉支援モデルとして位置づけられています。

事業の柱となるのは、当事者ご自身が支え合う『ピアサポート』という視点です。障がいのある子どもを育てる家族には、制度やサービスだけでは応えきれない悩みや不安が多く存在しています。そのような中、同じ立場や経験をもつ人ご自身が語り合い支え合うための、多様な拠点づくりに取り組みのが『ほのびあ』です。

※「ほのびあ」は、主に仙台市内に居住する、重症心身障がい児者、医療的ケア児者をケアする。
「ご家族を対象とした事業です」。

カフェで芽生えたつながりと、
行政のめざす方向の共鳴。

近年、仙台市障害者支援課では『当事者の声を生かした支援体制』の必要性が認識され、家族による支え合いをこれからの方向性として打ち出しました。一方、あいの実では2024年春に、医療的ケア児の母親を中心としたカフエ・ドウ・チルミルを開設。

就労支援を目的としたこのカフエでは、運営を通じて、思いがけず自然な交流と助け合いの関係が生まれ始めていました。「うちもそうだったよ」「こんな工夫が役に立ったよ」といった会話の積み重ねは、形式にとらわれない支え合いの原型とも言えるものでした。

あいの実の動きと、行政の方向性が共鳴し交差する機運の中、『ほのぴあ』という仕組みが形つくられたのです。

つながり方は、ひとつじゃない。
支え合いは、選べる時代へ。
カフェで芽生えたつながりを、
持続可能な制度へ育てる、
ピアサポートの進化形、
『ほのぴあ』が誕生しました。

『ほのぴあ』が誕生しました。

ピアサポートの進化形、

持続可能な制度へ育てる、

カフェで芽生えたつながりを、

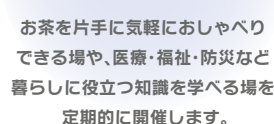
支え合いは、選べる時代へ。

つながり方は、ひとつじゃない。

制度とまなざし^{めざし}が変わる、
新しい支援のかたち。

『ほのびあ』は仙台市内外や他機関への展開を見据えたモデル事業といえます。とりわけ、感情の共有や経験知の交換といった制度では補いにくい部分を、行政が責任を持つて支える意義は大きく、今後の地域福祉政策の新たな方向づけとなる可能性を秘めています。その現場を支えているのが、あいの実で力フェスタツツとして経験を積んできた、医療的ケア児者の母親たち。地域との関わりや対人スキルを育みながら、社会とのつながりを少しずつ実感してきた彼女たちは、新たに家族相談員という役割を担い始めています。段階的なステップアップの機会に恵まれ、さらなる活躍が期待されています。制度の安定性と現場の温もりが交差する『ほのびあ』。プロジェクトの主役である当事者ファミリーたちと共に、ピアサポートの新しい姿を描いていきます。

遠方の方や外出が難しい方ともつながりを広げます。



●ほのびあやサイトについて詳しくはP13をご覧ください。

ART meets the "RYOUIKU"

アート×療育 —— 表現を支える、多様な交差



『GAZE ART BOOK』は、視線入力というアシスティブ・テクノロジーを用いて、医療的ケア児者が創り出したアート作品をまとめた一冊です。視線しか動かせない—その制約の中に宿る感性や想いが、色彩やかたちとなって立ち上がります。制作の現場には、介護者、デザイナー、編集者など、さまざまな人が関わりました。

テクノロジーと療育に支えられたアートは美しく魅力的なだけではなく、障がいを持つアーティストの『包摂と表現の権利』や『社会参加』『自己決定』といった普遍的テーマを浮かび上がらせています。あいの実は、“ともに社会をつくる”を目指し、アーティストたちの自立とエンパワーメントへの歩みを力強く後押ししています。



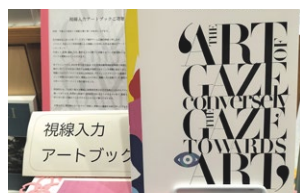
ART meets the COMMUNITY

アート×社会 —— 寄贈による、気づきと共感の交差点



『GAZE ART BOOK』は、アーティストのメッセージを乗せ、病院、大学、支援学校、図書館、人権関連機関、メディア、福祉施設、企業など、多岐にわたる分野に寄贈されました。

宮城県立こども病院をはじめとする医療機関への寄贈は、病と向き合う方々に希望と癒しを届けることを願うものです。また、東北福祉大学や、医療型障害児入所施設「カリヨンの杜」様をはじめ同業者への寄贈も実現し、学びや支援の知見を共有する『学びの交差』を生んでいます。東京都港区の『人権ライブラリー』にも寄贈し、「同じ機器でこのような素晴らしいアート作品ができるのかと感銘いたしました。所蔵・貸出等、ご活用させていただきます」とのメッセージをいただきました。



ART meets the FUTURE

アート×未来 —— 感動から、自立を生む仕組みづくりへ



寄贈に際しては、郵送のみならず、大学や病院での式典に製作者である子どもたちにも立ち会ってもらい、作品に込めた想いを自ら伝える機会を設けました。この形式により、受け取る側も作品だけでなく、制作者との交流を通してアートの感動を直接体感し、子どもたちの制作に向き合う姿や過程を思い描くことができます。こうした体験は、利用者やご家族にとって特別で意義深いひとときとなります。また、活動を通じて利用者の自立や新たなアート制作への意欲が育まれるとともに、企業や協力団体の認知が広がり、今後の連携にもつながるなど、波及効果が生まれています。

『GAZE ART BOOK』が閲覧できる施設については、あいの実HPをご覧ください。
LIMITED EDITION 寄贈をご希望される団体様(病院・学校・文化施設・カフェなど)は、 ☎ 022-785-9440
NOT FOR SALE 限定版・非売品 お気軽にあいの実までお問い合わせください。 ✉ office@ainomi.com ●担当: 阿部



特集②

GAZE ART BOOK の波及

寄贈先での出会い



視線で紡いだメッセージ、アートにつて大きく羽ばたく。アートブックの寄贈先で気づきや対話が生まれ、未来へのアクションにつながっています。

アート×社会

ART MEETS THE COMMUNITY



CRANBERRY

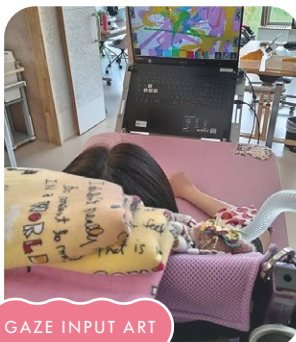


MUSIC CONCERT

ギター、シンセサイザー、ハンドベル。様々な音色に包まれた音楽会。



STRAWBERRY



GAZE INPUT ART

療育とアートが交差する視線入力



CRAFT & MARCHÉ

クラフトを楽しみつつ、マルシェで地域交流も達成

BLUEBERRY

RICE CULTIVATION
IMONI COOKING

田植えから土鍋で炊飯までのコメづくり体験。
芋煮つきで季節感満載！



FRUIT PUNCH

スイカでフルーツポンチ。
旬の果実で季節のおやつ作り。

 CRANBERRY RASPBERRY
 FOUR 4 STAGE
 STRAWBERRY BLUEBERRY

一人ひとりの可能性を
拓くステージで、遊びと
学びが交差する——

4つの通所で展開する多彩な活動

 2024——2025
 あいの実 活動報告

 活動
 寄り添う

に

 IKIRU NI YORISOU
 ACTIVITY REPORT!

「生きる」

①

 2024-2025 あいの実の
 「生きる」に寄り添う活動は

 多くの方々と関わりながら
 さらなる飛躍を続けています！

施設紹介

AINOMI

RASPBERRY


 生きる力が交差する
 あいの実ラズベリー


GARDENING

季節の草花を育む優しい時間

RASPBERRY

素材に触れて広がる感性

SENSORY PLAY



高度な医療的支援と、日常のぬくもり。その両立を現場で支えているのが、ラズベリーのスタッフたちです。一人ひとりの人生と向き合い、関わりを重ねるなかで見えてくるものは——。

STAFF INTERVIEW

今回は、看護師の小藤有紀さんにお話を伺いました。


 ラズベリー 看護師
 小藤 有紀 さん


A あいの実 K 小藤さん

A あいの実に入職して、何年になりますか？

K 2020年に入職し、今年で6年目になりました。前職はこども専門病院で、多くの子どもたちに関わってきました。

A ラズベリーでの仕事で、うれしいことやりがいを感じる瞬間は？

K あいの実に入職してからは、利用者さんはもちろん、ご家族やスタッフと一緒に活動やイベントを楽しんだり、こどもたちの成長とともに感じたり、ひとりひとりに充実した関わりが持てることがうれしいです。こども

たちがとても良い表情を見せてくれたり、ご家族から感謝の言葉をいただいたりすることが仕事のやりがいにつながっていると感じています。

A 2024—2025年のラズベリーで、印象に残っている出来事はありますか？

K ラズベリーの畑は、建物の東側にあり環境がよいのか、野菜がとてよく育ちます。

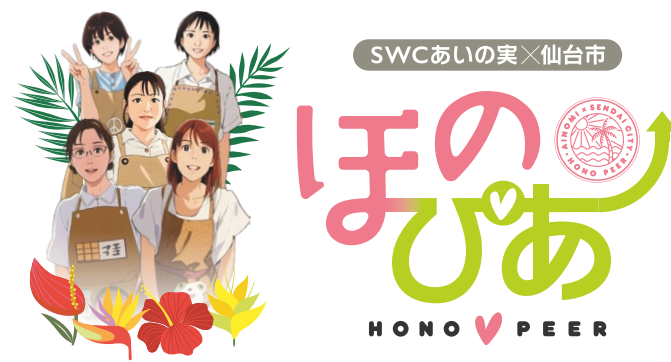
2024年はトマト、とうもろこし、メロンなどを育てました。トマトは豊作、朝採りのとうもろこしはとてもおいしく、こどもたちとクッキングを楽しんでおいしくいただきました。一方でメロンは収穫数が少なく、甘さが足りず…栽培や収穫のタイミングが難しいことを痛感しました！毎年いろんな野菜を育てながら、野菜の栽培をみんなで楽しめるといいな、と思います。

A 趣味やストレス解消法を教えてください。

K 一緒に暮らしていた祖母の影響で、幼い時から編み物が趣味です。母はパッチワークが得意で、毛糸や手芸用品がたくさんある家庭でした。今も物を作るのが大好きなので、時間があれば何か作っています。（最近は老眼との戦いですが）せつせと物を作り、人に売ったりプレゼントしたりしてストレスを解消しております。休みの日には、家族で各方面の道の駅に出かけるのも趣味の一つです。



生きがい広がる交差点



「ほのびあ」スタート!

『ほのびあ』は、仙台市との協働事業として、2024年から何度も協議やプレゼンを重ねながら形づくられてきました。採択後も、丁寧なすり合わせを通じて、カフェスタッフの『家族相談員』としての役割が明確になり、SNSでの情報配信や、傾聴を中心とした支援が求められるようになりました。そのため、専門講師をお招きし、相談者としての第一歩を支えるコーチング「心が元気になる聴き方のコツと、ご機嫌であるためのメンタルコントロール法を学ぼう」も実施されました。

2024年12月、視線入力によるアート作品をまとめた『GAZE ART BOOK』が完成し、支援学校や病院、県内外の図書館へ寄贈を開始しました。子どもたちの表現が、多くの人の心を動かしています。また2025年の年始から、5月実施予定の第2回シードキャンプ（家族主体の療育キャンプ）に向けた準備が本格化。2025年2月には『ほのびあ』が令和7年度市民協働事業提案制度に採択され、カフェスタッフが家族相談員として新たな一歩を踏み出しました。

ACTIVITIES

報告 活動

OVERVIEW



2024—2025 あいの実 活動報告

活動
を広
げる

を

IKIGAI WO HIROGERU
ACTIVITY REPORT!

「生きがい」

2

2024-2025 あいの実の
「生きがい」を広げる活動

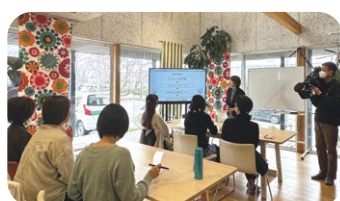
〈ほのびあ〉満を持して始動。
多くの共感を得ています！



MESSAGE

コーチング研修会社
ドリームフィールド代表
阿部 侑生 先生

親愛なるカフェスタッフの皆様、この度は研修へのご参加、本当にありがとうございます。お会いできてとても嬉しかったです。日々のお仕事と子育ての両立は想像を絶すること苦勞があること存じます。それでも熱心に学ぶ皆様の姿勢、あり方に心から感動いたしました。皆様の温かい笑顔はこれからたくさんのお客様を癒し、勇気づけていくことでしよう。つぎこそ自身を大切にしながらこれからも輝き続けてください！応援しています。



ていきたいと思っています。

研修全体を通し、笑いあり涙ありの充実した時間を過ごすことができ、カフェスタッフ間の絆もゆっきー先生（阿部侑生先生）との関係もさらに深まったように思います。とても充実した、素敵な時間をすごさせていただきました。ありがとうございます。

A 家族相談員として、同じ境遇にある方たちとどのように関わっていききたいですか？

T これから重い障害のある子とどんな生活になるのだろうと絶望していた時に、病院で出会った先輩お母さん達は私の話を「わかるよ、そつだよね、こつするといひよ！」とたくさん悩みを聞いてくれて生活のコツを教えてくださいました。

いつの日からか自分自身が先輩お母さんとなり、カフェでの仕事でも血洗いをしながら毎日ママスタッフとケアのやり方やサービス利用の情報交換をしていました。

なんとそれが認められ、そのままお仕事としてできると知り、インスタライブ（※現在はYouTube配信）などは結構不安もありましたが、泣いて悩んでいるママ達の力になれると思うと嬉しくなりそれが力になりました。

自分の経験を話すことで誰かの役に立ってさらには笑顔につながりますように！

そして「不便はあるけど不幸じゃないんだよ」と伝えていきたいです。

今回は、家族相談員の川代葉月さんと高橋邦子さんにお話を伺いました。

A あいの実 **K** 川代さん **T** 高橋さん

A 研修を受けての感想を聞かせてください。

K 私は看護学生の頃に「傾聴」について初めて学び、実習や現場でも「傾聴」することに努めてきました。しかし、以前は「アクティビティ」（積極的傾聴）ばかり意識していたため、今回「パッシブリスニング」（受動的傾聴）について学び、実践でも活かしてみたいと思いました。

パッシブリスニングが実際どんな場面でも有効になるのか、自分なりにさらに理解を深め



STAFF INTERVIEW

施設

3ヶ所
施設数
実況、北中山の施設に加え、全国でも希少な医療型ショートステイを含む複合福祉施設『COCOON西田中EAST』が2023年春に新たに開所。

1店
CAFE de CHILL MILL
COCOON西田中EASTに併設する形で、医ケア児ママたちが就労するカフェが2024年4月にオープン！

5台
お風呂浴槽数

活動実績

5人
医ケア児者ママスタッフ
285日
働いた日数(累計)
3738人
来店者数(累計)
2025年1月:126人、2月:174人、3月:183人
1149回
体験型メニューオーダー数(累計)
1032杯
ママたちが淹れたコーヒー杯数

5584人
無償入浴サービス利用の障がい児者の延べ人数
1350円/1回(約)
子どもの入浴費用

施設

※特に記載がない場合、2025年3月末時点での実績です。

数字で見るあいの実

あいの実を数の面から見てみると・・・
へい、ふん。あんなこと、こんなこと。
見えてくる。そうなるのか！
見えてきた。そうだったのか！
いろんな数があるけど、どんな数でも
あいの実の数は、あいの数。

106人
総スタッフ数
16人
10～15年勤務
13人
15年以上勤務
23人
「第一号研修」修了者
47.4歳
平均年齢

257人
利用者
※2025年7月末時点
※またがっている利用者が
おりますので、各事業の
合計人数とは異なります。

12台
トータル
450万円(約)
ワンボックス4WDの価格
(ハイエース・スーパーロングの場合)
重い障がいを持つ子どもたちの大きな
バギーが4台乗車可能な大きさ。

9668人
利用した延べ人数
(障がい児者)

20種
育てているハーブの種類
アップルミント、ペッパーミント、
オレガノ、ルッコラ、イタリアパセリ、
レモンタイム、チャイブス、パクチー、
スイートバジル、ローズマリー、
コモンマロー、レモンバーム

8種
育てている野菜&
フルーツの種類
きゅうり、ナス、オクラ、
ピーマン、トマト(中玉)、
カブ、ラディッシュ、
ゴーヤ

22回
見学・視察数

42回
TV+新聞・情報誌
※2025年7月末時点
18回TV
12回新聞社・通信社
4回雑誌・地域誌
8回その他
(団体・教育等)

5584人
無償入浴サービス利用の障がい児者の延べ人数
1350円/1回(約)
子どもの入浴費用

5584人
無償入浴サービス利用の障がい児者の延べ人数
1350円/1回(約)
子どもの入浴費用

5584人
無償入浴サービス利用の障がい児者の延べ人数
1350円/1回(約)
子どもの入浴費用

5584人
無償入浴サービス利用の障がい児者の延べ人数
1350円/1回(約)
子どもの入浴費用

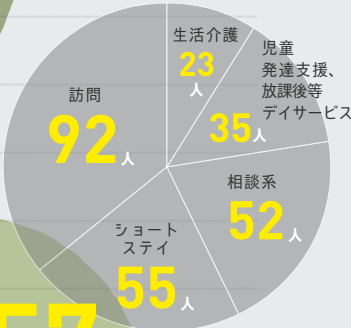
5584人
無償入浴サービス利用の障がい児者の延べ人数
1350円/1回(約)
子どもの入浴費用

5584人
無償入浴サービス利用の障がい児者の延べ人数
1350円/1回(約)
子どもの入浴費用

5584人
無償入浴サービス利用の障がい児者の延べ人数
1350円/1回(約)
子どもの入浴費用

5584人
無償入浴サービス利用の障がい児者の延べ人数
1350円/1回(約)
子どもの入浴費用

5584人
無償入浴サービス利用の障がい児者の延べ人数
1350円/1回(約)
子どもの入浴費用



生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

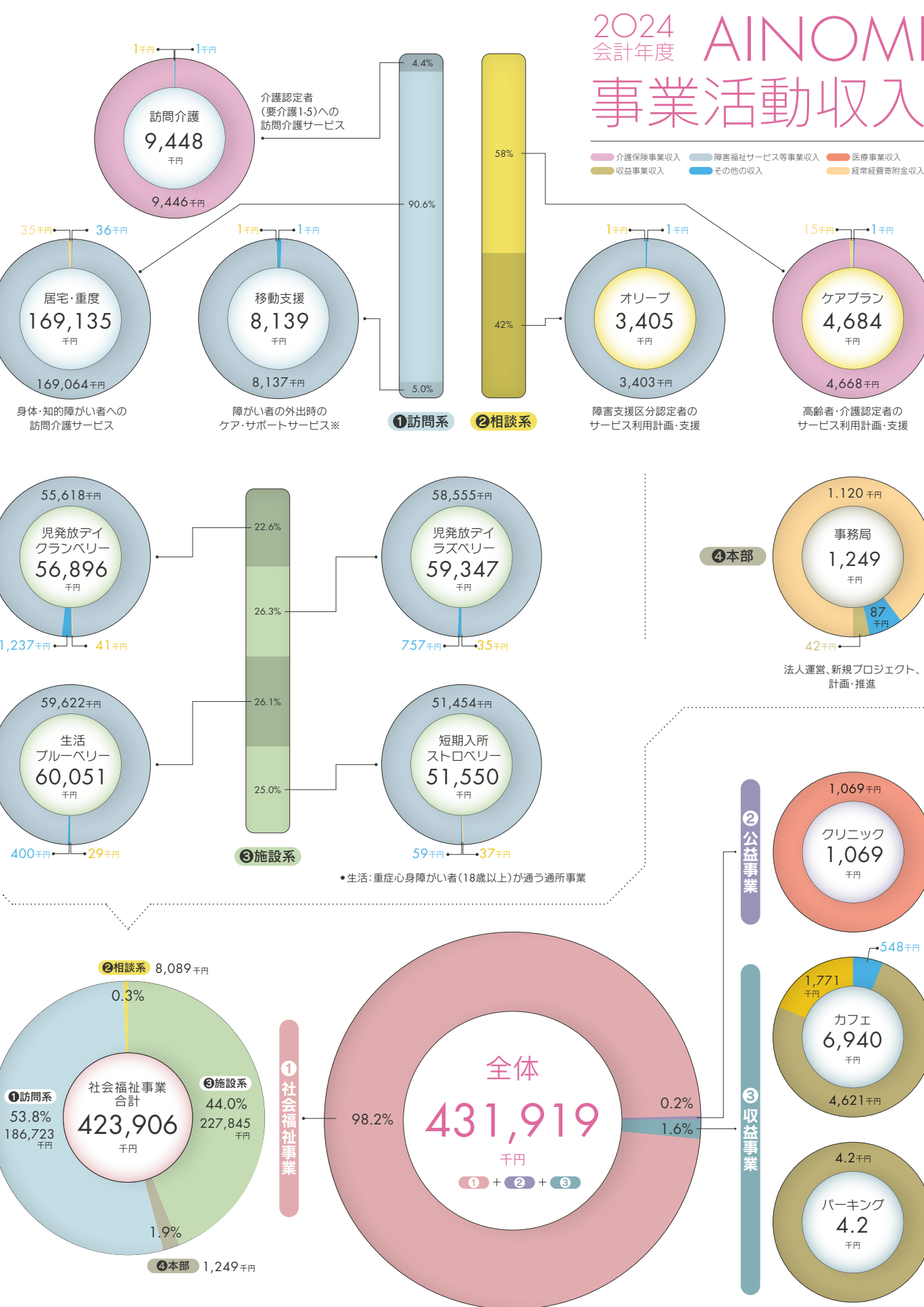
生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

生活介護 23人
児童発達支援、放課後等デイサービス 35人
相談系 52人
ショートステイ 55人
訪問 92人

2024 会計年度 AINOMI 事業活動収入



※事業活動による収入比のため、施設設備のための収入は含まれません。

事業報告及びその附属明細書は法令及び定数に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。又、計算書及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。 2025年5月30日 監事 伊藤 吉治 監事 川口 純平

紙面の都合上こちらには掲載できませんでしたが、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表等は、社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム



ACTIVITY PLAN 2025-2026

あいの実&仙台あばいんプロジェクト／ほのびあ 活動計画

5
May

第2回『THE SEED CAMP』開催

大盛況のうちに無事終了

7
July

第1回『ほのびあ・リアル』開催

手探り感たっぷりでしたが手応えアリの大収穫。

8
August

『ストロベリー・マルシェ』開催

日頃の活動から生まれたすてきな作品たちの販売や、ストロベリーの活動を体験できるワークショップを、あいの実ストロベリー(泉区西田中)にて開催しました。

10
October

第2回『ほのびあ・リアル』開催予定

仙台市との協働事業ほのびあ』のリアルイベント第2回目は、青葉の風テラス(国際センター駅2F)にて開催。テーマ『医ケア・重心児の就学から卒業後まで。小さい頃からの準備って何が必要なの?』日々の疑問や不安、学校行事などの体験談をシェアするイベントです。

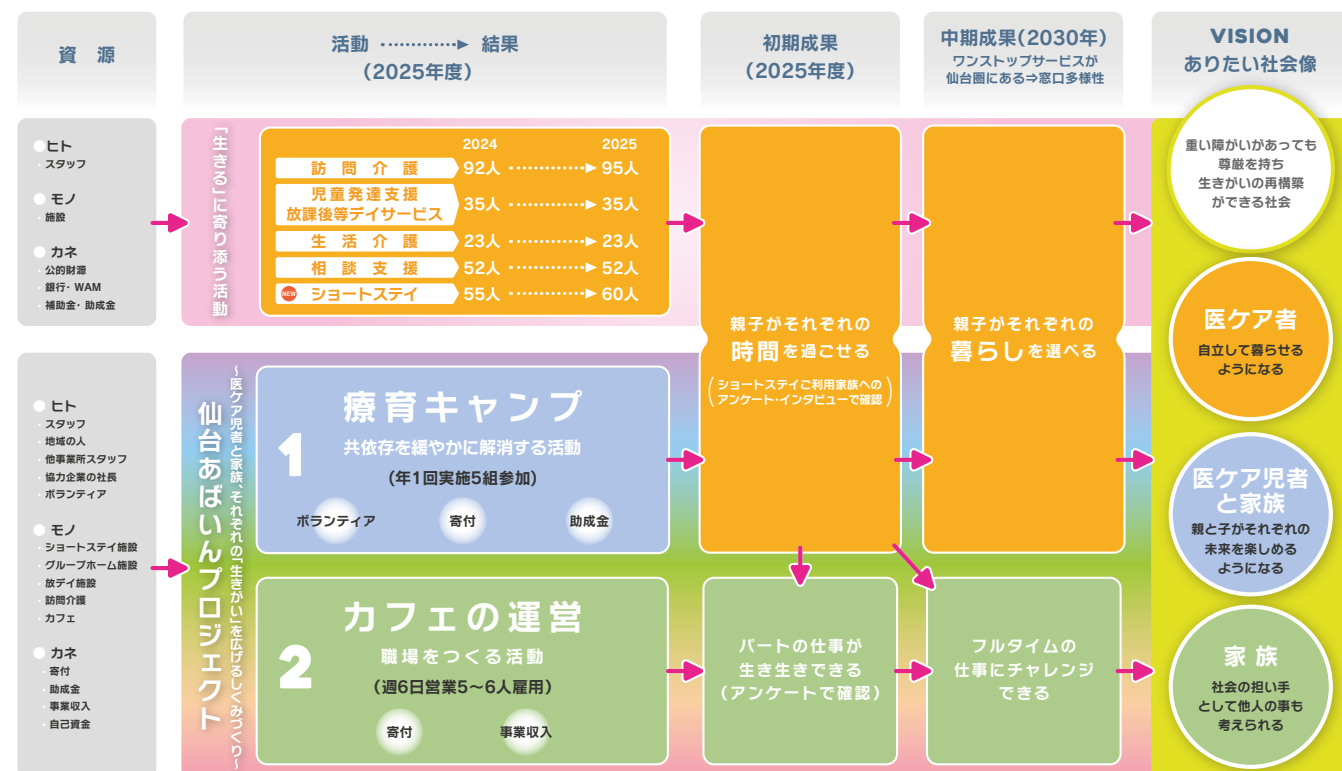
1
January

第3回『ほのびあ・リアル』開催予定

1月末～2月(日程未定)

※医ケア児者(医療的ケア児者):人工呼吸器、胃ろう、痰の吸引などの医療的ケアが日常的に必要な方。

ロジックモデル2025

VISION (ありたい社会像): 重い障がいがあっても尊厳を持ち、生きがいの再構築ができる社会
MISSION (あいの実が果たす役割): 「今を生きる」だけでなく「生きがい」と「生きやすさ」をともに広げる同じ境遇の人と
安心して話したい!子どもの将来が
心配...ほんのひととき、肩の力を
抜ける場所がほしい!

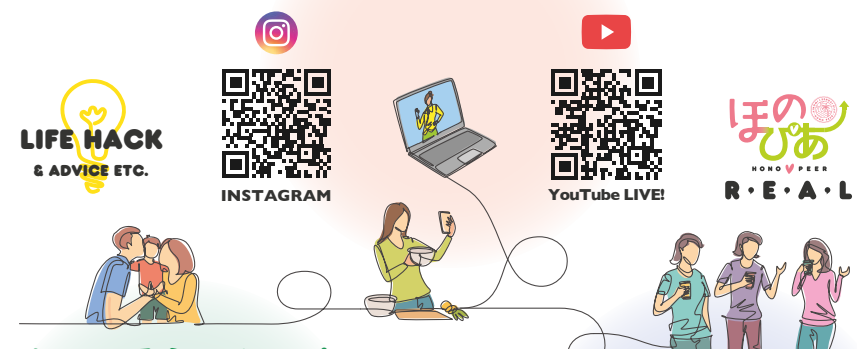
そんな想いに、そっと寄り添う場所と機会を仙台に広げたい。「ほのびあ」は、ファミリーの願いをカタチにしたプロジェクトです。

医ケア・重心のママが相談をお受けします!

医ケア・重心の子育て経験豊富なママたちが、みなさんの声にしっかり耳を傾けながら、家族同士の支え合いの輪を広げていきます。

※医ケア児・者(医療的ケア児・者)とは、人工呼吸器、胃ろう、痰の吸引など、日常的に医療的ケアが必要な方。※重心(重症心身障害児・者)とは、重い身体障害と知的障害を合わせ持つ方。

具体的な取り組み

オンラインで情報発信中!
ライブ配信は毎週2回開催!インスタライブやウェブサイトから、役立つ情報や、体験談をお届けします。
遠方の方や外出が難しい方ともつながりを広げます。医ケア・重心のある方の
子育てなどの相談日常の不安やサービス、今後の進路の
ことなど、経験豊富なママたちが
一緒に考えます。

ご相談はお気軽に

ホームページ内相談フォームや、
あいの実併設カフェまで。
相談役のママたちが対応します。登録
フォロー
お願いします!

リアルイベントの開催

お茶を片手に気軽にしゃべり
できる場や、医療・福祉・防災など
暮らしに役立つ知識を学べる場を
定期的に開催します。※詳細はホームページ、
またはInstagramにて
お知らせします。「ほのびあ」は
こんな方に!
おすすめです。同じ経験を持つ仲間と
つながりたい方地域の支援や情報を
もっと知りたい方子育てに関する悩みについて
相談したい方QRコードから
ホームページへ!

最新情報はインスタで!

ほのびあは ♥ 誰も取りこぼさない未来 ♥ を仙台からはぐくむ試みでもあります。どうぞ、あたたかな一歩を、ここから一緒に。

お問合せ

ほのびあ事務局(あいの実コクーン西田中併設 カフェ ドゥ チルミル)

〒981-3224 宮城県仙台市泉区西田中松下23 ☎ honopeer@ainomi.com 🌐 https://honopeer.ainomi.com



PLEASE SUPPORT AINOMI'S TWO ACTIVITIES

「社会とつながる」喜びを、もう一度。

医療的ケア児の母親たちが働く「カフェ・ドウ・チルミル」応援プロジェクト

働くのって
こんなに楽しかったんだ！CAFE de
CHILLMILL
カフェ・ドウ・チルミル

24時間、我が子の介護に追われ、社会から孤立していたお母さんたちが、ここで再び笑顔を取り戻しました。宮城県仙台市に生まれた「カフェ・ドウ・チルミル」。ここは、医療的ケア児の母親たちが、誇りを持って社会とつながるための希望の場所です。しかし、この灯を未来へ繋ぐには、あなたの応援が不可欠です。彼女たちの挑戦を、一緒に支えてくれませんか？

プロジェクトの詳細情報や
ご支援はこちらから

「社会とつながる」喜びを、もう一度～医療的ケア児の母親たちが働く

●「カフェ・ドウ・チルミル」応援プロジェクト



あいの実HP

難病や重い障がいと生きる「尊厳」を支えるご寄付を。

～「あいの実」の挑戦～

人からしてほしいと思うことを、
人にするこの想いを胸に、あいの実は
失われそうな尊厳を守ります。

- まばただけで想いを伝える人。
- 愛する家族と自宅で暮らす未来を、諦めざるを得ない人。

制度の隙間に落ちた願いに応え、仙台を拠点に、難病患者・重症者への24時間訪問介護や、医療的ケア児の居場所と可能性創りに、挑戦しています。どうか私たちと、未来の希望を共に創っていただけませんか？

プロジェクトの詳細情報や
ご支援はこちらから

難病や重い障がいと生きる「尊厳」を支えるご寄付を。

●「あいの実」の挑戦



あいの実HP

あいの実の2つの活動を
応援してください！

その他のご支援方法

- ヤフーネット募金
- 電話でのお申込み（本部事務所／022-785-9440）
- カフェ・ドウ・チルミルのご利用



YAHOO! ネット募金

●あいの実やあばいんプロジェクトへのご支援は、あいの実HPから受け付けております●

JOIN US, BE AINOMI/AVAIN PARTNERS!

SWCあいの実の
パートナー企業になりませんか？

Together!

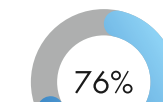
医療的ケア児とその家族をサポートする
パートナー企業のご提案

一全国で2万人と言われる医療的ケア児。宮城県の医療的ケア児者は634人です。（2023年3月調査）
医療的ケア児者とは呼吸器や胃ろうなどの医療的ケアが日常的に必要な方たちです。医療的ケア児者とそのファミリーは、社会から取り残されがちです。24時間続く介護のために常に睡眠不足や社会からの孤立を経験しています。

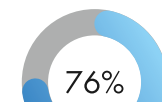
社会福祉法人あいの実では2023年より、医療的ケア児者の母親のパート勤務をかなえるカフェの運営や、ファミリーのアウトドアや交流を実現するキャンプイベントをスタートしました。ご家族のためのプロジェクトに、国からの支援はありません。重い障がいのある子どもの居場所と家族の「生きがい」と「生きやすさ」を創るため、企業の継続的なサポートを必要としています。

社会的認知がまだ足りていない私たちの活動にご理解いただき、誰も取りこぼされない社会の実現に向かって、お得意な分野でご協力いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

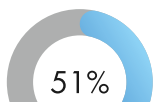
具体的な問題



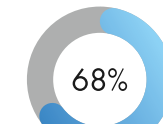
慢性的な睡眠不足である



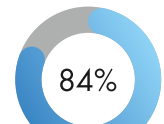
希望する形態で仕事ができている



社会からの孤立を感じる



日々の生活は緊張の連続である



資格取得のための学習が行えない

企業からのサポートの必要性

- 医療的ケア児者と家族のサポート 現状ではまだまだ不足している
- 金銭的サポートがない分野もある 個人のサポートには限界がある
- パートナー企業のチカラ 大きく時代を進めることができる
- コンティニュアスなサービスの提供 企業からの継続的サポートが必要不可欠

パートナー企業としてサポートする方法や
メリットについてはこちらからSWCあいの実の
パートナー企業に
なりませんかパートナー企業について
ご質問、ご相談はこちらから

✉ avain@ainomi.com

または

☎ 022-785-9440

担当 久保潤一郎（専務理事）

ご支援くださったみなさま

Thank You All
So Much For Your
Donations!

『心も豊かに』をコンセプトに、デザイン家電の企画・開発・販売事業を展開されるエペイオスジャパンさん。
あいの実のカフェプロジェクトに共感され、ドリッブケトルを始め、たくさんのご寄贈品・ご寄付によりご支援頂きました。



EPEIOS / エペイオス は2020年に東京で生まれたライフスタイルソリューションブランドです。日本、中国、韓国などを拠点とし、アジアの優れた技術と生産力をベースに世界で認められてきた日本のものづくりの知見を活かしたプロダクトを展開しています。

2024年4月～2025年3月末にご助成・ご支援頂いた団体

●一般財団法人 善い心を未来につなぐ財団

498,490円

あいの実・あばいんプロジェクトの先行事例『特定非営利活動法人・やっぺす』さんからも、ご助力頂いております。



有限会社 都市建築設計集団 / UAPP
Urban Architecture Planning Partnership

ひとりひとり小さな力だけど、一つ一つをかみ合わせることで大きな力を生み出す。



ITシステム開発・ITシステムコンサルティング・地方創生開拓事業
株式会社GEAR
宮城県 仙台市 青葉区 国分町 3丁目 11-5 日宝勾当台西ビル 203



仙台トヨペット
長命ヶ丘店

仙台市泉区長命ヶ丘3-30-1 TEL.022-378-6666



株式会社 わたなべ
宮城県 仙台市 青葉区 国分町 3丁目 11-5 日宝勾当台西ビル 203

仙台市内賃貸 アパート・マンション 介護施設



仙台市のアパート・マンション探しはセーテンへ!

引っ越しの見積り、不要な家電、家具などの買い取り、処分。
障害をお持ちの方、高齢の方ご自宅の売却などどんなことでもお気軽にご相談ください!

宮城県指定 居住支援法人 株式会社セーテン
〒981-0954 仙台市青葉区川平2丁目20-32-102号室
フリーダイヤル 0120-743-806
ホームページ seiten2020-senndai.com



あいの実 COCOON 西田中 EAST



市村工務店

〒990-2482 山形県山形市久保田 3-11-12
TEL 023-644-6878 FAX 023-643-8813

THANKS FOR DONATIONS

